



INTERVIEW

福島で、実現する。

あなたが実現したいことは、なんですか？

先輩職員インタビュー

「この小さな“業務”の先に県民の方々の

大切な暮らしを想像しながら。」



行政事務

所属 文化スポーツ局 スポーツ課

●これまでの経歴(所属年度)

H22～H24 南会津地方振興局 県民環境課

H25～H26 県北保健福祉事務所

児童家庭支援チーム

H27～H30 危機管理部 危機管理課・消防保安課

H31～ 文化スポーツ局 スポーツ課

Q. 現在の仕事内容とそのやりがいについて教えてください。

A. スポーツ課では主に東京 2020 パラリンピックでも話題となった、車いすバスケットボールやボッチャなどのパラスポーツの振興を担当しています。大会等の準備・運営、イベントの出展など、現場に出ることも多いです。

パラスポーツの振興には、障がいのある方の社会参加の促進や、共生社会の実現といった大切なテーマがありますが、それを県内外様々な関係団体の方々と共有し、協力しながら推進していくことにやりがいを感じています。



↑ 福島県障がい者スポーツ協会の職員の方とパラスポーツのイベントに向けた打合せ



Q. 福島県職員として、実現したいこと、目標としていることは何ですか。

A. どんな業務でも、必ずその先に「県民の方々の大切な暮らし」があることを想像しながら、取り組むことを目標としています。

例えば、スポーツ振興の先には、生涯健康で、誰もが夢を持って挑戦・活躍している姿を。以前の所属（危機管理部）なら、防災の普及・啓発を行うその先に、日々、安心して生活している姿を。

この小さな積み重ねが、県民の方々の豊かな暮らしを実現する一歩になると信じて、日々の業務にまい進しています。



↑エアレースパイロットで、ふくしまスポーツアンバサダーにご就任いただいている
室屋義秀さんと（「スカイスports教室」の休憩時間にて）

Q. あなたをキーワードで伝えるとしたら、どんな言葉が思い浮かびますか。

A. 「素晴らしい出逢い」「夫と二人三脚」「女子会がエネルギー」「趣味は音楽鑑賞、最近ちょっとスポーツ観戦」

Q. 「素晴らしい出逢い」について教えてください。

A. 所属や担当業務が変わる度に、素晴らしい出逢いに恵まれます。他官公庁はもちろん、民間企業の方々、現在はスポーツ関係団体の方々など、情熱持って仕事をされている方々との出逢いは、本当にかげがえのないものであり、自身の最大のモチベーションでもあります。

Q. 受験者に向けたメッセージをお願いします。

A. 「行政事務」と言っても、業務の幅はとても広く、スポーツとは無縁の人生を送ってきた私が、スポーツ振興の仕事をしていることも驚くことではありません。新しい仕事に向き合う日々は、不安もあり、勉強も必要ですが、それこそがこの仕事の醍醐味であるとも言えます。一緒に仕事ができる日を楽しみにしています！